

『船参宮の再興が過疎地域を担う』



三重県 伊勢市

特定非営利活動法人

神社みなとまち再生グループ / 伊勢市



3 活動の成果や波及効果等

伝統行事である篠島から伊勢神宮への船による「御幣綱」の奉納は平成10年に70年ぶりに復活させ今年度22回目を迎えることになりました。これまでに約20,000人の地域住民が参加しており、地域の観光資源として賑わいを見せています。

また、海の駅舎前に歴史散策パネルを設置し、パンフレットを併用して散策できるまちあるきコースの設定、港の美観形成活動の一環として地元小学校の子供たちによるコンクリート防波堤への壁画作成を行い堤防への落書きを防止するなど、防犯活動の一役を担っています。



御幣綱船歓迎 鼓笛隊演奏

4 前回受賞時からの活動の発展内容

平成27年9月の係留施設占有許可申請により占有許可事業所として選定されて港の管理運営の一部を担っており、5ヶ年で不法係留をゼロとする目標に向けて、現在約9割(100隻)の船に係留許可を出し、許可船には識別用のステッカーを貼付しています。あわせて行政支援として不法係留船の引き上げ作業を請け負うなどの活動を行っています。

所在地

三重県 伊勢市

活動主体及び連絡先

特定非営利活動法人 神社みなとまち再生グループ (0596-21-5582)
http://www.kamiyasirominatomati.com/

対象となる社会資本

一級河川 勢田川 ※管理者：国土交通省
伊勢市神社海の駅 ※管理者：伊勢市

喜びの声



受賞者

特定非営利活動法人
神社みなとまち再生グループ
理事長 中村 清

コメント

私たちは、平成15年にNPO法人を設立し活気あるみなとまちづくりを目標に取り組みをしてきました、平成25年の一般部門での受賞以降6年が経過し、活動の広がりを評価していただいたものと光栄に思っております。

活動の内容

- ・木造船みずぎの運航による船参宮の再興
- ・おんべだい行事の開催
- ・青空市場 [辰の市] の開催
- ・占有区域の船舶係留管理 等々

活動の経緯

- | | |
|-------|--------------------------------|
| 平成10年 | 70年ぶりにおんべだい行事を復活 |
| 平成13年 | はまっこ学童クラブを開設 |
| 平成15年 | NPO法人を立ち上げ |
| 平成17年 | 木造船みずぎ運航開始 |
| 平成18年 | [海の駅神社]伊勢市の指定管理となる |
| 平成26年 | 手づくり郷土賞(一般部門)受賞 |
| 平成28年 | 不法係留船舶ゼロ化の取り組み、占有区域の管理者指定を受ける。 |

1 社会資本の概要

神社海の駅は、一級河川 勢田川河口部に位置し、古くより、お伊勢さんの海の玄関口として賑わった港町にあります。この港町は、明治時代に伊勢湾に定期航路が開かれてからは、各地から参宮客で賑わいました。物資の積み出し港として、また、沖を通る千石船の風待ち港でもありました。

地方港湾 宇治山田港において、港湾区域を地域住民を主体とする市民や訪れる人々がふれあう新たな広域交流拠点として再生すべく、平成10年に宇治山田港整備促進協議会を設置し、提言の中で、神社港地区と、河崎地区とを結ぶ、歴史文化交流軸が示され、「海の駅」の整備等が実施されました。



伊勢市神社海の駅と一級河川 勢田川



伊勢市神社海の駅 駅舎

2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

過去には、伊勢神宮等への玄関口として、町が栄えていましたが、交通手段が車へシフトされたことにより、港としての賑わいがなくなっていきました。また、東日本大震災を契機とした港の地震や津波に対する安全対策の実施により、「まち」と「港」が高潮堤防等により分断されるなど、港への親しみが無くなりつつありました。そこで、海の駅等を利用した地域イベントや親子見学等を通じて港の魅力を

発信するとともに、不法係留船対策として係留施設占有許可申請の管理運営を行うなど、日々港の管理を行うことにより地域に一体感を高めています。

また、まちかど博物館の運営、辰の市の開催、高齢者の憩いの場の提供、学童クラブの運営など活動を衰えさせない多岐にわたる活動を実施するなど、工夫を凝らした活動に取り組んでいます。



木造船みずぎで夏休み親子ツアー



辰の市でのぜんざいふるまい



沈没船の引き上げ作業



手づくり郷土賞

受賞記念発表会

講評

大賞部門

一般部門

資料編

手づくり郷土賞

受賞記念発表会

講評

大賞部門

一般部門

資料編